

町田市特別支援教育ハンドブック作成に向けて

1 作成の目的

指導にあたる教員の特別支援教育への理解と授業力を一層高める必要がある。

- ① 学級担任・教科担任のユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業改善が滞っている状態である。
 - ・特別支援教育アドバイザーが、3年間で、町田市内の65%の学校で授業観察を行い、「授業振り返りシート（ハンドブック21ページ）」を使って評価を実施した。達成状況は、全体の1割～2割である。
- ② 教育センター講師を招聘した校内の「特別支援教育研修会」の実施率は、3年間で48%である。
- ③ 「町田市特別支援教育ハンドブック」の活用が積極的な学校は、特別支援教育の実践が進んでいる。
- ④ 特別支援学級の担任のうち、特別支援学校教諭免許状を保有している者は17%にとどまっている。
- ⑤ 特別支援教育ハンドブックの積極的な活用率は、40%に留まっている。

2 作成計画

2023年度 【学級担任・教科担任向けハンドブック】作成 （2024年度4月配布）
 2024年度 【特別支援学級担任向けハンドブック】作成 知的固定学級・情緒固定学級合本
 2025年度 【通級指導学級担任向けハンドブック】作成

※ 学級担任向けハンドブックを単独かつ最初に作成することについて

「子ども一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行う」という観点から教育を進めていくことは、障がいのある子どもにも、周囲から気付かれにくいものの学習上又は生活上困難のある子どもにも、さらには全ての子どもにとっても、良い効果をもたらすと考えられている。

様々な実態をもつ児童・生徒が在籍している通常の学級では、ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業の工夫が早急に求められている。

しかし、現状では、通常の学級の教員が、特別支援教育の理解や指導方法について学ぶ機会は限られており、3年前に配布された「特別支援教育ハンドブック」の精読・活用も進まない実態がある。

そこで、町田市では、通常の学級担任・教科担任を対象にしたハンドブックを作成し、教員の特別支援教育への意識改革と実践力向上を促進する。

3 冊子の内容（案）

I 特別支援教育を理解する

- 1 特別支援教育とは
- 2 自立とは
- 3 子どもを理解する
- 4 集団の中で個別指導を行う
.....

II 的確なアセスメントをするために

- 1 アセスメントとは
 - ・ 行動観察
 - ・ 成育歴・家庭の状況
 - ・ 知能検査・発達検査
- 2 アセスメントの協力体制

III 障がい特性と発達特性

- 1 各種障がいの特性
- 2 障がいと手帳

IV 学校全体で行う特別支援教育

- 1 校内委員会の充実
- 2 教員の共通認識
- 3 学習環境・生活環境を整える

V 通常の学級における特別支援教育

- 1 通常の学級の現状
- 2 児童・生徒が求める教員の支援
 - 児童・生徒アンケートの結果
 - 結果から見えること
- 3 授業におけるユニバーサルデザイン
 - ・授業をつくる視点と具体的な方法
- 4 授業振り返りシート＜小・中版＞
.....続く

VI 子どもの状態像と具体的な支援方法

- 学習面の課題のある子
- 行動面に課題のある子
- 社会面に課題のある子

VII 子どもを支えるための連携

- 1 就学前から中学校まで
- 2 家庭との連携
- 3 関係機関との連携